

寒地における冬どりカンランについて

松本良一郎・菅野清司

(岩手県園試南部分場)

1 ま え が き

岩手県の沿岸暖地を中心に冬期間の温暖な立地条件をいかしてそ菜の端境期に出荷出来る作物として冬どりカンランがあり、出荷期を1月より3月までを目標

にして1961年より試験始め1962年20ha、1963年40haの産地栽培がすすめられており、次の諸点について一応の成果が得られたので概要を報告する。

2 試 験 結 果

1. 品種について

第1表 各品種収量調査(1963)a当1球

品 種 名	播 種 期	定 植 期	収 量 Kg	平均重 Kg	最大球 Kg	最小球 Kg	備 考		
							外		結球色
							耐寒度 1~5	葉色	
長交四季穫	7月25日	9月3日	350	1.25	1.99	0.64	強 2 弱	a	b
夏蒔晩春	"	"	357	1.28	1.88	0.62	4	b	c
" 2月穫	"	"	458	1.53	2.30	1.03	3	a	c
四季理想	"	"	390	1.30	1.99	0.47	2	b	a
ゆたか	"	"	384	1.28	2.06	0.63	3	a	a
初霜	"	"	245	0.82	1.31	0.44	1	a	a
さくら	"	"	434	1.45	2.13	0.50	2	b	c
晩霜	"	"	201	0.67	0.94	0.46	1	a	a
冬どり	"	"	245	1.20	1.49	0.86	4	b	c
兵交3号	"	"	350	1.17	1.66	0.36	1	a	b
早生秋宝	"	"	466	1.65	2.36	0.79	3	b	b
はつゆき	"	"	330	1.10	1.35	0.50	2	a	b
大御所	"	"	288	1.35	2.18	0.72	1	a	b

備考欄中 a..... 緑 b..... 淡緑 c..... 白緑

冬どりカンランは耐寒性並びに低温結球性が高く冬季グリーンの強い品種が望ましい。此の点を考えるに

長交四季どり・四季理想・大御所・ゆたか 以上4品種が適するように認められた。

## 2. 播種期並びに定植期について

第2表 播種期別収量成績

試験年次	品 種 名	播 種 期	定 植 期	収 穫 期		収 穫 率	a 当 収 量	1 ケ 平均重
				50%	80%			
1963	長交四季稷	7月15日	8.25日	12下	1下	100%	489 <sup>Kg</sup>	1.63 <sup>Kg</sup>
"	"	20	30	1中	2上	"	392	1.31
"	"	25	9.4	1下	2中	"	348	1.16
"	夏蒔晩春	7.15	8.25	1上	2上	"	327	1.46
"	"	20	30	1中	2中	"	388	1.42
"	"	25	9.4	2上	2下	"	398	1.46
"	夏蒔2月穫	7.15	8.25	12下	1下	"	372	1.69
"	"	20	30	1中	2上	"	465	1.55
"	"	25	9.4	1下	2中	"	380	1.27
"	四季理想	7.15	8.25	12中	1中	"	593	1.98
"	"	20	30	1上	1下	"	555	1.80
"	"	25	9.4	1中	2上	"	390	1.30

第1表 各品種収量調査(1963)

試験年次	品 種 名	播種期	定植期	収 穫 期		収 穫 率	a 当 収 量	1 ケ 平均重
				50%	80%			
1962	モリ初夏蒔時	月 日 2 20	月 日 9 1	12 中	1 上	79.7%	334 <sup>Kg</sup>	1.18 <sup>Kg</sup>
"	"	7.28	5	2 上	3 上	70.9	241	0.95
"	"	8.4	10	3 中	4 上	61.2	200	0.87
"	長交四季穫	7.20	9.1	1 上	2 上	65.3	225	0.96
"	"	7.28	5	3 上	4 上	43.1	150	0.93
"	"	8.4	10	4 上	4 下	80.6	249	0.86
"	夏蒔理想	2.20	9.1	12 下	1 下	80.5	298	0.99
"	"	2.8	5	2 下	3 下	69.5	163	0.77
"	"	8.4	10	3 下	4 中	70.9	253	1.10
"	夏蒔2月穫	7.20	9.1	1 中	2 下	58.4	199	0.95
"	"	2.8	5	3 上	4 上	54.2	169	0.87
"	"	8.4	10	4 上	4 下	40.3	138	0.95
1961	長交四季穫	7.20	9.5	1 下	3 中	77.7	223	0.83
"	"	2.9	12	3 上	4 上	88.8	312	1.16
"	長交理想	7.20	9.5	1 中	3 上	63.0	284	1.05
"	"	2.9	12	3 中	4 下	94.4	293	1.09
1960	長交四季穫	7.29	9.14	4 中	4 下	92.5	304	0.92
"	長交理想	"	"	3 下	4 上	88.5	248	0.77

7月15日播種では収穫開始時期が12月中旬から12月下旬で1月下旬までには各品種共全株収穫可能であつた。7月20日播種においては1月上旬収穫可能となり収穫終期は2月上旬であつた。7月25日播種では1月中旬収穫始期となり収穫終期は2月下旬

であつた。7月28播の日収穫可能始期は3月上旬で収穫終期は4月上旬であつた。8月4日播種では4月上旬収穫可能期に達し4月下旬収穫終期となつている。

なお、1962年度に於いて8月11日播種を行なつた結果全品種抽苔株となり収量は皆無であつた。

3 栽植密度について

第3表 栽植密度と収量成績(1963)

品 種 名	畦 巾	株 間	a 当 株 数	播 種 期	定 植 期	a 当 収 量	1 球 平均量	球	
								最大球	最小球
長 交 四 季 穫	120 <sup>cm</sup>	30 <sup>cm</sup>	540 <sup>本</sup>	7.25	9.3	367 <sup>kg</sup>	0.68 <sup>g</sup>	1.16 <sup>kg</sup>	0.33 <sup>g</sup>
"	"	36	450	"	"	381	0.85	1.45	0.42
"	"	45	360	"	"	365	1.02	1.54	0.61
"	"	54	300	"	"	374	1.25	1.72	0.57
"	"	60	270	"	"	360	1.33	1.99	0.93
四 季 理 想	120	30	540	"	"	400	0.74	1.34	0.28
"	"	36	450	"	"	374	0.83	1.46	0.42
"	"	45	360	"	"	362	1.01	1.83	0.29
"	"	54	300	"	"	342	1.14	1.98	0.68
"	"	60	270	"	"	324	1.20	2.03	0.64

栽植密度の異なる間の収量については四季穫品種は大きな差は認められなかつたが、四季理想甘藍においては栽植密度の密なる程収量が多く粗植区程低収を示している。

~1.5kg前後の球が最も消費が多い傾向にあり、冬どりカンランの栽植株数は多少土地の肥沃度、施肥量其の他条件差はあろうが10a当り、3000~3500株前後が適するように考えられる。

3 考 察

以上品種、播種期及び定植期、栽植密度について述べたが、冬どりカンラン栽培上特に留意する点は播種適期が7月20日~7月27日1週間、定植期8月30日~9月5日までと播種期及び定植期の幅が非常に狭

1球平均重量についてみれば四季穫、四季理想両品種共に密植になるに従つて小球が多く、大球少く緊度が劣る。従つて如何に全収量が多収を示しても1.0kg以下の小球が多く商品価値が劣る。最近の市場性は1.0。7月20日以前播種では12月中旬収穫可能となり出荷適期(1月中旬)までの在圃期間が1ヶ月間あるために球部が凍結の為腐敗球が多く見られ早播の感じをうける。7月28日以降播種では収穫可能時期が3月下旬~4月となり出荷目標時期より遅すぎのきらいがある。

普及地帯

以上のような結果から冬どりカンラン栽培の県内適用範囲は根雪のない地方に導入出来ると思われる。